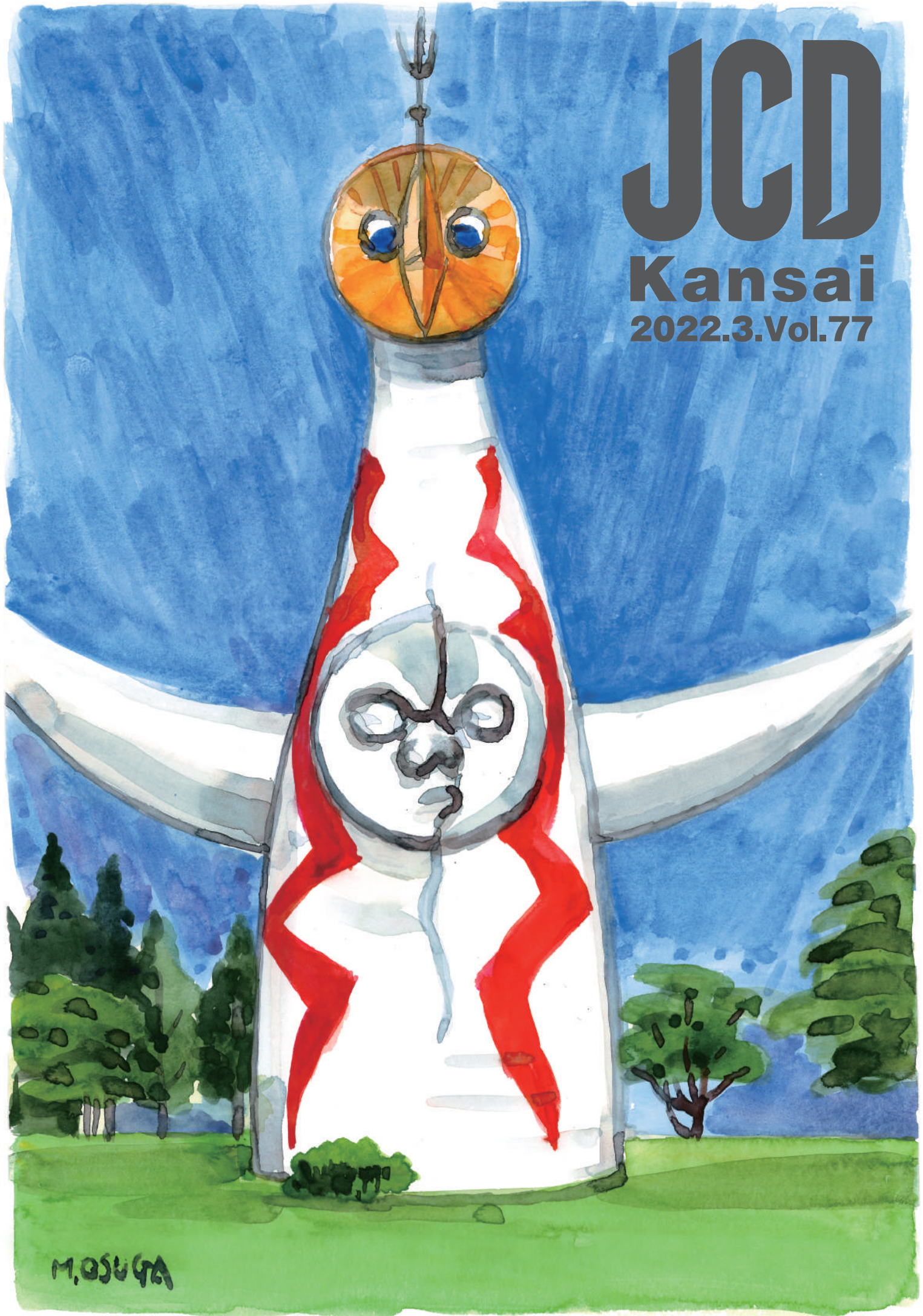


JCD

Kansai

2022.3.Vol.77



M. OSUGA

美しいアウトドアの情景を ZEROの光で彩る



ZERO
LANDSCAPE LIGHTING ZERO
3rd generation



重耐塩仕様標準化 塗装色の別注同一価格

<https://www.lighting-daiko.co.jp/zero/>



アウトドアライトの未来をつくる
ZEROシリーズカタログ第3弾

「ZERO」 LANDSCAPE LIGHTING ZERO

総掲載点数 834点 / 新製品 434点を掲載

大光電機株式会社
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル

DAIKO
<https://www.lighting-daiko.co.jp>



2022.3 Vol.77

(一社)日本商環境デザイン協会 関西支部
JCD kansai 2022年3月 第77号



〔表紙・水彩画〕
「前万博のなごり」
名誉会員 大菅 満義

報告

JCD関西支部活動報告

2021年度 JCD関西支部 支部集会&賛助会員新商品発表会&トークセミナー ————— 齊藤 俊二 02
岡部 清一 03

特集

日本空間デザイン賞2021

日本空間デザイン賞 KUKAN OF THE YEAR/日本経済新聞社賞2021
大賞「未来コンビニ」「神水公衆浴場」の2作品に決定

審査員選評 大賞/金賞 ————— 佐藤 卓/ペギー・ルイ 他 04

特集

JCDプロダクトオブザイヤー2021

上位3製品及び理事長審査評 ————— 窪田 茂 08

連載

Working Now

新入会員紹介 ————— 倉知 優歌/谷山 里志 09
中島 裕子/山田 智美 09

報告

委員会活動報告

2022 JCD kansai ニューイヤーイベント
SDGsとデザインの行方「2025・2030とその先に」 ————— 鍵谷 啓太 10
2021年度 賛助委員会 活動報告 ————— 西田 豊彦 12

2021年度 JCD関西支部 支部集会&賛助会員新商品発表会&トークセミナー 統括委員長 齊藤 俊二

昨年同様コロナ禍での支部集会として、オンラインによる開催となりました。中村支部長より、昨年度はこのままイベントが出来ないではないか？との心配しながらも、オンラインを逆に上手く使いながらの開催をしていけるのではとの話から始まりました。第一部として、①中村支部長より、JCD本部として60周年(還暦)を迎えることになり、記念的なイベントの活動をコロナと上手く向き合いながら活発にしていくとのお話がありました。②東理事からは、2020日本空間デザインアワードの受賞作品の報告、③齊藤統括委員長からは、2021年度JCD関西の委員会組織体制及びUSD-O大阪・関西万博に向けた活動報告がありました。次いで中村支部長より、新入会である倉知さん・栗本さんの紹介とお二方からの自己紹介を頂き、JCD入会への想いを語って頂きました。第二部では、西田賛助委員長を中心に、賛助企業4社(SFA Japan様、日東製陶所様、エスケー化研様、リビエラ様)より、新商品PR会を行いました。各社だいたいオンラインでのPR会に慣れた感じで画面共有を駆使し、時間通りに分かりやすくプレゼンされていました。今やスタンダードとなったオンラインを普段通りに活用した支部集会と

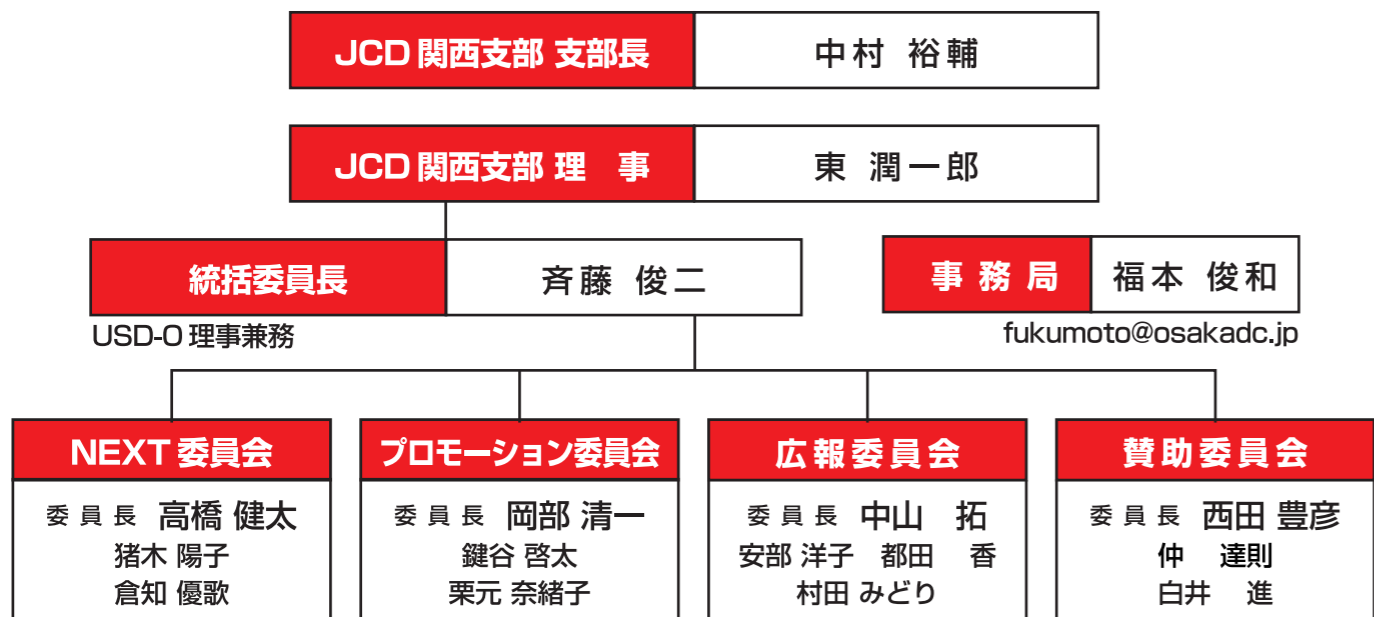
日時：2021年6月3日(木) 18:30～20:30
 参加者数：33名(オンライン開催)
 第一部：支部集会
 第二部：賛助会員新商品発表会
 第三部：コロナ禍での起死回生
 —withコロナビジネスチャンスはどこやねん!—



なり、第三部の岡部プロモーション委員長によるイベントへと繋がりました。(右頁記事)



2021年度 (一社)日本商環境デザイン協会・関西支部 組織表



第二部 賛助会員 新商品発表会



第三部 コロナ禍での起死回生 —withコロナ(ビジネスチャンスはどこやねん)—

プロモーション委員会 委員長 岡部 清一

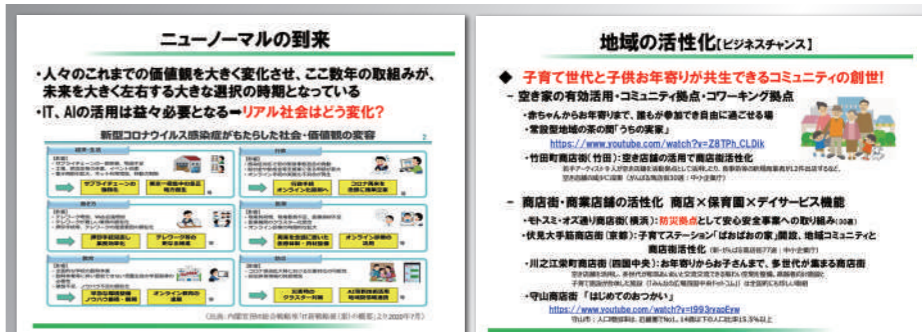
2020年2月に始まった「新型コロナウイルス感染症」の勢いは未だ衰えを見せず、我々の生活様式に始まりず社会全体の仕組みを変えてしまうほどの威力を保っています。しかしながら、我々人類は必ずやこれらに打ち勝ち、更にこの経験を活かし発展していくものと考えています。

JCD関西支部ではアフターコロナの未来を見据え、社会はどう変化するのか、それに対する我々の役割はどうあるべきなのか、デザインはどのように変わるのかをテーマにトークセミナーを行いました。

まだまだトンネルの出口が見えないなか、「新業態」や「ニューノーマル」という考え方が広がっています。トークセミナーでは、JCD会員であり中小企業診断士でもある岡部清一が、社会の情勢、経済の動向、そして今後考えられるビジネスのあり方と環境変化を語り、それを受けてJCD関西支部メンバーがそれぞれの専門分野からの知見と共に、活発なトークセッションが行われました。

コロナ禍の影響により、マスクや手洗いなどの生活習慣が大きく変わりました。同時に、大きく変わったものは「働き方」です。今回は、働き方改革やオフィス、店舗のあり方だけでなく、より幅広くSDG'sやデザインビジネスの視点からも考察を深め、今後「我々が目指すべきもの」がより明確になされ、環境配慮

的な視点が必要である事が分かりました。在宅勤務やリモートワークが増えることにより、都心部に集中した居住空間から大都市近隣地方都市への移住が進み、アフターコロナを意識した地域活性化も進められます。既存住民、特にお年寄りと若い世代の関わり合い方や、防災を意識した街づくりなど、デザインの重要性がより認識された様に感じます。



日本空間デザイン賞 2021年度大賞 KUKAN OF THE YEAR 「未来コンビニ」「神水公衆浴場」の2作品に決定

審査員選評

神水公衆浴場

佐藤 卓

熊本地震の経験から生まれた新しい発想の災害支援住宅である。地震のあと、多くの人がお風呂に入れず苦勞していたからと始めた広いお風呂は、一般公衆浴場としての許可を得て、家族と地域が混ざり合う場所になった。つまり個人の住宅が、普段から公的な使われ方をしているため、災害時には自然に支援の施設になるという、これまでになかった柔軟さをこの住宅はもっている。

ここには災害時に、決められた一つの大きな避難場所に集まるという考え方とは異なった災害対策のあり方が、具体的な空間デザインとして示されている。建築資材としての木も、地元の木材を9割使用し、水も阿蘇から流れる肌触りの滑らかな地下水を汲み上げていて、資源の循環を考慮した設計になっている。このことは普段から、子どもたちが環境に意識を向けるための教育的な意味をもつ。空間としても、耐震構造は担保した上で、木の質感を存分に活かした天高の空間は、開放的で新しくもあるが、どこか懐かしい銭湯の趣もあり、その絶妙なバランスが素晴らしい。個人の働きかけにより、公共と個の壁を越え、こんな新しい意味をもった空間ができるのだと社会に示してくれたことは、これからの災害支援空間の考え方に大きな影響を与えるだろう。

エキシビション、プロモーション空間 金賞

佐藤可士和展 国立新美術館

五十嵐 太郎

当然だが、これまでの佐藤可士和の作品ではなく、この展覧会において、それらがいかにかディスプレイされたのか、についての評価である。国立新美術館は、現代美術家でもなかなか使いこなせない巨大なホワイトキューブをもつが、同展では各種の平面デザインがスケールレスであることを逆手にとって、各部屋において効果的なサイズと配置を巧みにレイアウトしている。また鑑賞者と作品の距離もさまざまなレベルで計算されていた。屋外でも広告の展開を手掛けてきた経験が、見事に展示デザインにも生かされている。

ショーウィンドウ&ビジュアルデザイン空間 金賞

和光本館ショーウィンドウ 「3.11 未来への希望の鐘」

佐藤 卓

東日本大震災が発生したその日その時を忘れないために、そしてこれからの希望のために、銀座4丁目角という日本で最も洗練された街の中心で、この場のもっている意味を充分活かし、和光の鐘の音に世界の鐘の音を加え、共に提示されたこの大きな時計の存在は、商業施設としてのショーウ



日本空間デザイン賞 2021

未来コンビニ

ペギー・ルイ

今後、A.I.やデジタルサービスは、私たちのデザインや日々の生活を大きく変えていく可能性があり、その中で、私たちはデザインの本当の意味での未来がどうなるのかを考えざるをえない。私の個人的な見解では、「未来コンビニ」はシンプルな中にも人間らしい叙情的なデザインがされており、最も洗練されているのは、点から点へのつながりをどのように構築するかを提案しているところだと思う。おそらくこのプロジェクトの設計者も同じ考えをもっているのではないかと。

コンセプトだけでなく、明るい色で塗られたY字型の柱は、まるでコンビニの中に立ち並ぶ木々のように、構造体さらには地域全体を支え、照らし出しているように見える。デザインの意図は成功しているといえるだろう。シンプルなデザイン、シンプルなミッションは人々のニーズを満たすためのものであり、デジタルやA.I.によって分析開発されたものが人間の代わりになることは好ましくない。「未来コンビニ」のプロジェクトやデザインには、意味のある多くのメッセージが込められており、その一方で、デザインのさらなる拡張の可能性=「未来」も見えてくるだろう。

が行き届き、高いクオリティーの時間が流れているようだ。アイデンティティであるスクエアと能舞台のようなステージもコンセプト的に視覚化されている。

大規模商業空間(複合施設空間) 金賞

GREEN SPRINGS

ペギー・ルイ

緑豊かな広場を囲んでいる施設群は、深い軒下のテラスやフルオープン可能な共有スペースなどでつながり合っている。軒下のテラスや全開できる開口部をもつ共有スペースは、建物の内外を緩やかにつなぎ、複合施設の空間デザインの使い方を上手く引き出していると思う。

サービス・ホスピタリティー空間 金賞

葉山加地邸

千葉 学

近代建築巨匠の作品に手を加えることは、その作風が完成され、また社会的に認知されているがゆえに困難な仕事だ。しかしこの作品は、その名作のオーセンティシティを精緻に読み解き、自分なりの再解釈を加えた上での丁寧な「対話」が重ねられていて、実に清々しい。自らの作風を対比的に衝突させるといふ「あざとさ」に陥らず、まるで庭の手入れをするかのように取り組む姿勢は、リノベーションのあるべき姿である。創造的とは本来こういうことだ。

未来コンビニ

受賞者: 佐藤航 / コクヨ

Grand Prix



- ◆所在地: 徳島県那賀郡
- ◆完成年月: 2020-04-24
- ◆建築・インテリアデザイン: 佐藤航、青木耕治、黒尾智也、須賀真紀子/コクヨ
- ◆建築・インテリアデザイン: 蜜石陽平、狩野拓真、原田典典/GEN設計
- ◆エグゼクティブプロデューサー: 藤田恭嗣/KITO DESIGN HOLDINGS
- ◆クリエイティブディレクション・グラフィックデザイン: 鶴野澤啓佑/KITO DESIGN HOLDINGS
- ◆企画: KITO DESIGN HOLDINGS、山内康裕/レインボーバード、敦賀正樹/クオリア
- ◆照明デザイン: 加藤久樹/加藤久樹デザイン事務所
- ◆施工: 北岡組
- ◆クライアント: KITO DESIGN HOLDINGS
- ◆撮影者: ナカサ&パートナーズ 山本慶太



神水公衆浴場

受賞者: 西村浩 / ワークヴィジョンズ

Grand Prix



- ◆所在地: 熊本県熊本市中央区神水
- ◆完成年月: 2020-08-31
- ◆建築設計: 西村浩/ワークヴィジョンズ
- ◆建築設計: 竹味佑人/竹味佑人建築設計室
- ◆構造設計: 黒岩裕樹/黒岩構造設計事務所
- ◆施工: たねもしかけも
- ◆クライアント: 黒岩構造設計事務所
- ◆撮影者: 小川重雄



金賞 佐藤可士和展 国立新美術館

受賞者: 佐藤航 / コクヨ

- ◆ 展示場所: 東京都港区六本木 ◆ 展示開始日: 2021-02-03
- ◆ クリエイティブディレクション: 佐藤可士和 / SAMURAI
- ◆ キュレーション: 宮島綾子、米田高輝 / 国立新美術館
- ◆ プロデュース: 佐藤麻理子 / TBS グロウディア
- ◆ デザイン: 齊藤良博、石川耕、奥瀬義樹、糟谷義人、安川宏輝、内野渚彩、辻統一郎、石渡菜央、土屋恵里、川口安司 / SAMURAI
- ◆ 施工: 丹青社、丹青ディスプレイ、クレアプランニング、フレームマン、ムラヤマ、ヤマト運輸、東北新社 SIGHT PROJECT MANAGEMENT
- ◆ クライアント: 国立新美術館、サムライ、TBS グロウディア、BS-TBS、朝日新聞社、TBSラジオ、ぴあ
- ◆ 撮影者: 太田拓実



金賞 和光本館ショーウィンドウ「3.11 未来への希望の鐘」

受賞者: 武蔵淳 / 和光

- ◆ 展示場所: 東京都中央区銀座 ◆ 展示開始日: 2021-03-06
- ◆ クリエイティブディレクション: 福田崇 / 電通
- ◆ アートディレクション: 高島新平 / 電通
- ◆ プロデュース: 丸島一恵 / 電通
- ◆ アートディレクション: 武蔵淳 / 和光
- ◆ その他: 蓮沼執太 ◆ プロダクション: 電通
- ◆ クライアント: セイコーホールディングス
- ◆ 撮影者: 大木大輔



金賞 平和の軸

受賞者: 高橋匠 / 博展

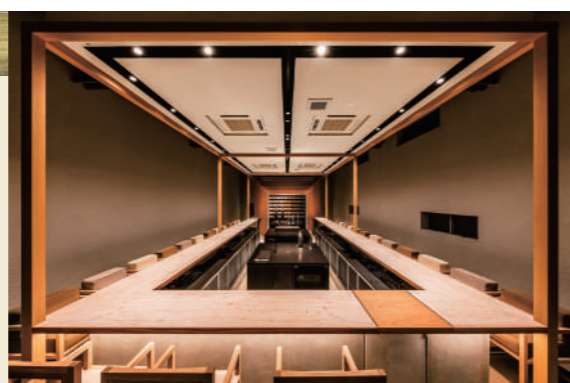
- ◆ 所在地: 神奈川県横須賀市
- ◆ 完成年月: 2021-04-01
- ◆ クリエイティブディレクション: 齋藤精一 / Panoramatik
- ◆ デザイン: 高橋匠 / 博展
- ◆ プロデュース: 山口望未 / Panoramatik、高橋広樹、河野俊太郎 / 博展
- ◆ プロダクション: 渡邊芳博 / 博展
- ◆ クライアント: 横須賀市
- ◆ 撮影者: 荒井章 / ナカサアンドパートナーズ



金賞 KOFFEE MAMEYA -Kakeru-

受賞者: 林洋介 / フォーティーンストーンズデザイン

- ◆ 所在地: 東京都江東区平野
- ◆ 完成年月: 2021-01-27
- ◆ クリエイティブディレクション: 加藤智啓 / エディングポスト
- ◆ 施工: 栗原内装
- ◆ クライアント: 國友栄一 (嗜好品研究所)
- ◆ 撮影者: 神宮巨樹



金賞 GREEN SPRINGS

受賞者: スタジオタクシムズ+ランドスケープ・プラス +山下設計+大林組

- ◆ 所在地: 東京都立川市緑町 ◆ 完成年月: 2020-04-10
- ◆ マスターデザイン: スタジオタクシムズ、ランドスケープ・プラス
- ◆ 建築設計: 山下設計、大林組 ◆ プロジェクトマネジメント: フレームワークス、山下設計
- ◆ その他: キュリオシティ、ライトデザイン、井原理安デザイン事務所
- ◆ ディベロップメント: 立飛ホールディングス、立飛ストラテジーラボ
- ◆ 施工: 大林組 ◆ クライアント: 立飛ホールディングス
- ◆ 撮影者: 根本健太郎写真事務所、川澄・小林研二写真事務所、立飛サービス、エスエス、GREEN SPRINGS



金賞 葉山加地邸

受賞者: 神谷修平 / カミヤアーキテクト

- ◆ 所在地: 神奈川県三浦郡葉山町
- ◆ 完成年月: 2020-05-01
- ◆ 施工: 小川建設
- ◆ クライアント: ヨネヤマ
- ◆ 撮影者: 太田拓実



金賞 富岡製糸場西置繭所

受賞者: 齋賀英二郎 / 文化財建造物保存技術協会

- ◆ 所在地: 群馬県富岡市 ◆ 完成年月: 2020-10-03
- ◆ 建築設計監理: 小林裕幸、木下純、佐藤明生、鍛冶野泰佑、齋賀英二郎 / 公益財団法人文化財建造物保存技術協会
- ◆ 展示デザイン: 齋賀英二郎、前田尚武 (ミュージアムコンサルタント)、榊原健祐 (グラフィックデザイン) / 公益財団法人文化財建造物保存技術協会、マエダオフィス、Iroha Design
- ◆ 照明デザイン: 飯塚千恵里 / 飯塚千恵里照明設計事務所
- ◆ 展示施工統括: 古寺右京、高山俊太、黒沼祥子 / プランコ
- ◆ 施工: 竹中・タルヤ共同企業体 ◆ クライアント: 富岡市 ◆ 撮影者: 瀬脇武



金賞 千駄ヶ谷駅前公衆トイレ

受賞者: 谷尻誠 / 吉田愛 / SUPPOSE DESIGN OFFICE

- ◆ 所在地: 東京都渋谷区
- ◆ 完成年月: 2020-08-06
- ◆ 施工: 辰
- ◆ クライアント: 渋谷区
- ◆ 撮影者: 長谷川健太



博物館・文化空間 金賞 富岡製糸場西置繭所

石橋 勝利

世界遺産である富岡製糸場の敷地内にある国宝「西置繭所」の保存整備である。建物は、幅約12m、長さ約104mの木骨レンガ造りの2階建て。1階に鉄骨と強化ガラスによるハウス・イン・ハウス(入れ子構造)を導入して、ギャラリーや多目的ホールなどを新たに設置。ガラス越しに国宝建物が体感できる。単なる保存にとどまることなく、その価値を維持・継承しながらも積極的な活用も図るという、国宝の新たな在り方を提示している。

公共生活・コミュニケーション空間 金賞

千駄ヶ谷駅前公衆トイレ

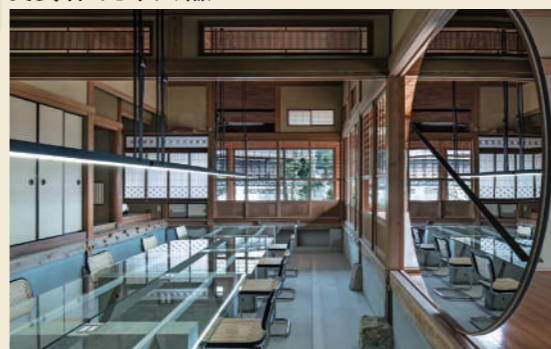
佐藤 卓

コンクリートの直方体が宙に浮いている存在観で、公衆トイレにはまったく見えず、まず「ここはいったい何だろう?」と思わせる面白さがある。中の空間は狭いが、足下から入る光が圧迫感を軽減し、さらに上から降り注ぐ自然光が、コンクリート洗出しの質感を強調して、個性的なトイレ空間を演出している。内部に木の壁をつくり、冷たい印象を和らげ、仕方なく用をたすというトイレ空間を、選ぶトイレに昇格させているところが素晴らしい。

金賞 マルヒロオフィス「おうち」

受賞者: 元木大輔 / DDAA

- ◆ 所在地: 長崎県東彼杵郡波佐見町 ◆ 完成年月: 2021-03-04
- ◆ 建築設計・監理: 元木大輔、角田和也 / DDAA
- ◆ その他: 甲斐貴大 / studio arché
- ◆ 施工: 上山建設 ◆ クライアント: マルヒロ ◆ 撮影者: 長谷川健太



オフィス空間 金賞

マルヒロオフィス「おうち」

永山 祐子

古民家の要素を残したオフィス。コロナ禍で働き方やオフィスの役割が大きく変わろうとしているタイミングであることから、最初の予算の半分でできることから探っていき、完成時にピークを迎えるのではなく徐々に進化していけるように作られている。まずその姿勢に共感する。さらに古民家の要素を新しく読みかえながらできた空間がとても魅力的で、説明抜きで目を引いた。新鮮なアイデアが散りばめられたこの場所は、人が能動的に働きたくなるような衝動を与える生きた空間であるように感じた。集まる意義を感じさせ、これからのオフィスの在り方を予感させる。

上位3製品及び理事長審査評

JCD 理事長 窪田 茂

Grand Prix 1位
NIGHT BOOK
 株式会社ワイ・エス・エム

何よりプロダクトの完成度が素晴らしく、ユーモアを感じられる本型の照明器具。構造はシンプルで、調光はブックカバーをずらして発光面を減らす事で調整するという。素朴でシンプルな発想ではあるが、人に寄り添うような優しさを感じるプロダクト。この商品がすぐにインテリアデザインに組み込める訳ではないが、更に進化をしていく事で可能性を広げられそうだ。また、過去のプロダクトを拝見してもその完成度の高さが伺え、今後に益々の期待を寄せたい。

Second Prize 2位
クレアデコール
 四国化成工業株式会社

左官材という素材でありながら、厚さ100mm程度までの塗り厚が可能という驚愕の素材。厚く塗れるという事は、今まで出来なかったような立体的なデザインが可能になり、デザイナーの発想一つでその意匠は無限に広がっていく。強度もかなりあるため汎用性はかなり高く、壁だけではない他の部分への展開も考えられるのではないだろうか。これはもはや左官を超えた材料と言っても良いだろう。

空間を詩的に変える
 一冊の照明

引き出すだけで光が広がる

本に挟める、わずか11mmの厚み

多くの照明技術に挑戦し、磨き上げてきたLEDを均一に面発光させる技術を駆使し、やさしく広がる光をわずか11mmの薄さで可能にしました。

スエ革の経年変化が楽しめる照明

手が触れる背表紙の部分はユーザーとの大切な接点とらえ、天然素材のスエ革を職人の手で一つひとつ丁寧に貼り込みました。使い込むほどにお気に入りの一冊のように変化していく照明です。

株式会社ワイ・エス・エム 〒340-0811 埼玉県八潮市二丁目342-1 TEL 048-996-3410

Second Prize 2位
バイオシャドー
 パナソニック株式会社ライフソリューションズ社

照明は単に照明という機能だけではなく、その未来は映像装置のようにしていくのではないだろうかと思わせるプロダクト。このダウンライトのようなプロダクトから映し出される映像は、木漏れ日や水面、雲など、室内にいながら屋外で感じるような感覚的なイメージを映し出す。その光は優しく虚ろいながら、不思議と癒しを感じるようなものであった。ふとしたところでこのような照明が使われる事で、想像以上の効果を発揮するだろう。

本物の自然をモチーフにした、映像と音をブリンストール

自然の情景を映す BioSHADOW

Panasonic

● 新入会員紹介 ●

倉知 優歌 Kurachi Yuka | 株式会社乃村工務社 大阪事業所

小島歯科医院 船東京よし田 叙々苑小田急ハルグ

飲食店や大型商業のほか、クリニックやプライダルなど様々な業態に携わってきました。JCDでの交流から多くを学び、付加価値性の高いデザインを追求してゆきたいと考えています。

〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70 パークスタワー19F 株式会社乃村工務社 大阪事業所 デザイン部 mobile:080-8760-3574 E-mail:y.kurachi@nomura-g.jp

谷山 里志 Taniyama Satoshi | イクス株式会社

LOUCA ショールーム K 低リノベーション工事 F 邸オリジナルキッチン

2022年1月に大阪堀江に輸入家具と輸入建築商材を販売するショールームLOUCA(ラウカ)をOPENしました。グループ会社でインテリアに関わるご要望を一括して承っております。(設計デザイン)イクス(株)・(内装工事)インフィニティ(株)・(オーダー家具製造)ファニー(株) LOUCAへお越し頂ければ私の拘りを感じて頂けると思います。

FUN.N.Y

〒542-0061 大阪市中央区安堂寺町1-1-10 イクス株式会社 代表取締役 mobile:090-4960-8254 E-mail:s-taniyama@infinityinc.jp

中島 裕子 Nakajima Yuko | 株式会社 FUGA

戸建リノベ ビルリノベ マンションリノベ メゾネットリノベ

大阪を中心に北海道から沖縄まで、幅広い範囲でゲストハウスやグランピング、ショップ、リノベーションの設計デザイン施工をさせて頂いております。建築だけでなく、商品のブランディングやプロモーションや広告系デザイン等、完全ギルド制のチームで「どんな仕事もオモシロク」をモットーに、日々楽しみながらクリエイティブしています。

FUGA Inc.
 fuga-works.com
 〒550-0015 大阪市西区南堀江4-6 西道頓堀ハイツC111 株式会社FUGA 代表取締役 mobile:090-5012-2635 E-mail:jimajima@fuga-designworks.com

山田 智美 Yamada Tomomi | KITCHEN&MAKERS

開業して間もないのでまだまだ未熟者ですが大好きな仕事に就けていることに感謝しながら日々精進してまいりますどうぞよろしくお願い致します

〒543-0056 大阪市天王寺区堀越町8-16 TENNOJI BASE 501 KITCHEN&MAKERS mobile:090-5069-6768 E-mail:yamada@kitchen-makers.net

2022 JCD kansai ニューイヤーイベント SDGsとデザインの行方「2025・2030とその先に」

プロモーション委員会 鍵谷 啓太

毎年恒例のクリスマスイベントを今年度はニューイヤーイベントに変更してオンライン開催いたしました。会場は大阪・船場センタービル2号館に11月8日オープンした大阪デザインセンター(ODC)のセミナースペースをお借りしました。

今回のイベントテーマは現在の私たちすべてに共通の課題でもあるSDGs・持続可能な開発目標です。最初に賛助委員会の西田委員長の司会のもと、賛助会員企業のSDGsに対する取り組みと、その解決を目指した商品について、株式会社ニッシンイクス様、ニチハ株式会社様、コイズミ照明株式会社様の三社からプレゼンテーションして頂きました。

ところでSDGsについては、17ある達成目標の期限が2030年と定められております。少し前までは「10年先」という未来の話であったのですが、2022年の現在にいたっては8年先という喫緊の課題とも言えます。そしていま、学生という立場でデザインを学んでいる若い世代にとっては、彼らが社会に出て、一線で活躍し始めるその時期こそが、SDGs達成期限の2030年であるといえます。そこで今回のイベントはデザインを学ぶ学生さんによる、学校でのSDGs解決をテーマとした課題作品をプレゼンテーションして頂き、JCD会員のコメンテーター陣によるプロの視線からの講評を行なうトークセッションといたしました。

日時：2022年1月28日(金) 18:30～20:40
場所：大阪デザインセンター
参加者数：46名(オンライン開催:会場メンバー・学生含む)
第一部：【賛助会員PR会】株式会社ニッシンイクス/ニチハ株式会社/コイズミ照明株式会社
第二部：トークセッション「2025・2030とその先に」
【参加校】大阪モード学園/修成建設専門学校
【モデレーター】鍵谷 啓太(修成建設専門学校・空間デザイン学科 学科長)、中村 裕輔(株乃村工藝社)
【コメンテーター】東 潤一郎(JA laboratory)、斉藤 俊二(株スペース)、高橋 健太(株メジャー)、松浦 竜太郎(乃村工藝社RENS)、白井 進(南現代店舗/アトリエ・プラス・ジー)、山田 悦央(株ピクデザイン事務所)、岡部 清一(おかべ診断士事務所)、倉知 優歌(株乃村工藝社)、栗元 奈緒子(株乃村工藝社) etc.

た。題して『SDGsとデザインの行方 vol.1 — 2025・2030とその先に』です。

今回は大阪モード学園インテリア学科より2名、修成建設専門学校空間デザイン学科より2チーム、あわせて4つの課題作品を学生の皆さんに参加・発表いただきました。

最初の登壇者である大阪モード学園の岩橋さんからは、地域社会と経済を持続させるための「地方地域医療構想」について発表がありました。時にはネガティブな感情が付きまとう「病院に行く」という行為を、買い物やスポーツなど様々なアクティビティと



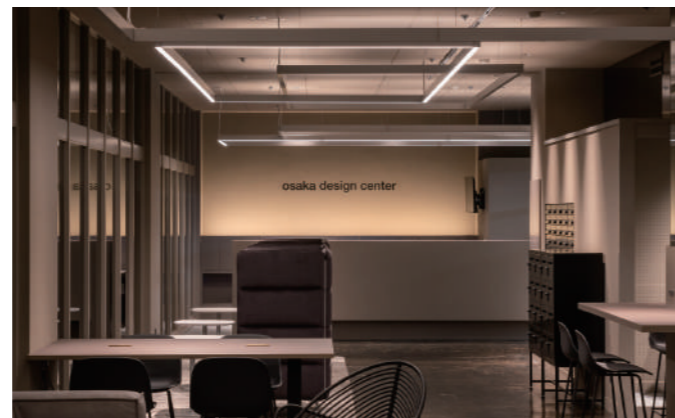
大阪モード学園
インテリア学科
岩橋 辰洋さんの発表風景



JCD会員コメンテーター
による講評風景



修成建設専門学校
空間デザイン学科
角田 真鈴さんの発表風景



2021年11月8日、船場センタービル2号館1階にOPENした大阪デザインセンター(ODC)

重ね合わせ、ショッピングモールの形態をとるといった地域医療圏空間の提案に、参加会員からは着眼点の面白さやおおらかで構造的な空間構成に感心する声が多く挙がりました。

次に同じく大阪モード学園の佐伯さんより、気候変動を避け、都市に森を築くための、地下都市を構築する提案がありました。委員からはプレゼンテーションの美しさを評価する意見、未来を感じるといった意見が多くありました。

続いて修成建設専門学校の最初の発表者は1年生のチーム「黒豆インターズ」の皆さん。コロナ禍で思うような学びができないなか、地方と都市を結ぶ、黒豆食パンカフェを企画・デザイン提案・店舗工事にインターンとして関わった記録の発表を聴かせてくれました。会員の皆さんからは内容もさることながら、彼らが初々しくそして楽しくデザインに関わる姿にある種のまぶしさを感じるといった意見がありました。

最後の発表者は修成建設専門学校の角田さん。企業内ベンチャーとしてSDGsの解決を目指す新ブラ

ンドの提案とそのビジネスモデル、ポップアップストアのデザインです。ここでは地方創生・地産地消といった考えかたに加えて、これらと都市の消費者を結ぶ仕組みとして「マッチングアプリ」が提案され、この発想の新しさと構想のロジックが高く評価されました。

今回発表していただいた学生の皆さんは2000年代以降生まれの、いわゆるZ世代。生まれたときからインターネットはもちろんSNSがあった世代です。一般的にこのZ世代の特質である「共感力・感応力の高さ」「社会的正義(social goodness)へのポジティブな意識」こそが、おそらく社会をより良い方向へと変革する、SDGsの解決へと向かう原動力なのではないか? そんなことを考え感じる事ができたイベントとなりました。

総括としてJCD関西支部・東理事より、われわれ世代の意識も改革し、次の世代にバトンをつなげられるよう、これからもこの回を重ねて答えを見つけて行けたらと思います、と纏めていただけたことが印象的でした。

2021年度 賛助委員会 活動報告

賛助委員会 委員長 西田 豊彦

今年度の賛助委員会もコロナ禍を受け、リアルな会合を持っていないまま、一年が過ぎようとしています。その為、合同委員会や賛助会員内のコミュニケーションもオンラインが中心となりました。

ただ、去年は各社ともにオンラインによるミーティングに手探りの部分が多かったのですが、今年度はスムーズに進める事ができ、新しいコミュニケーションの方法として定着した感があります。

各社ともその様な状況で、機器間の接続、ビッグデータ活用からWebサイトの充実、ウェビナー、PR動画や資料の準備に至るまでDX化を進めており、コロナ前/コロナ後で企業活動や働き方、意識などに大きな変化や、場合によっては改善が進んだ領域もあるようです。

また今年度はポストコロナに向け、社会や各企業が身構え始めた一年でもありました。

残念ながらオミクロン株の出現で、まん延防止措置など足踏みをしていますが、出現前の束の間、非常事態宣言が解除された際の飲食店や商業施設に人が繰り出す様子は商空間の創出に関わる私たちにとって本当に嬉しい光景でした。

今、社会や企業が活動をすすめる中、避けては通れない取組がSDGsです。その中で関西支部賛助委員会はSDGsに対する各社の取組にスポットをあて、PR会ではSDGsをキーワードに、自社製品や企業姿勢をアピールいただくという新しい試みを実施いたしました。

同様に賛助委員会で熱心に活動頂いている修成建築専門学校の鍵谷先生が前年度より合同委員会のメンバーとして参加をして下さり、次代を担う学生の方々と最前線で活躍するデザイナーの皆さまとの交流も進みました。

■賛助委員会 会員が参加したPR会

JCD支部集会 賛助会員PR会 2021年6月3日(木)

- SFA JAPAN株式会社
手洗器の増設が簡単な 排水圧送ポンプのPR
- 株式会社 日東製陶所
平滑性、防滑性に優れた「さらっとグリップ」の紹介
- リビエラ株式会社
イタリア製セラミックタイル「レミー」の紹介
- エスケー化研株式会社
ファインモルタル/ファインFR工法の紹介

ニューイヤーイベント 賛助会員PR会 2022年1月28日(金)

- 株式会社ニッシンイクス
ikumoriプロジェクトと広葉樹を利用した壁/床材の紹介
- ニチハ株式会社
地球環境にやさしいエコ外壁材の紹介
- コイズミ照明株式会社
LED照明の本当のメリットは制御。照明の市場動向を解説

つくるを 創り 続けて 繋がってゆく。

ものづくりする人を、創り(育成)続けて百余年。

その信頼と実績が、社会との強い繋がりをつくっている。

そして、この想いは未来へと。



学校法人 修成学園
修成建設専門学校

一級建築士受験資格認定校 職業実践専門課程認定校

- 建築学科 ■建築CGデザイン学科 ■空間デザイン学科
- 住環境リノベーション学科 ■土木工学科
- 建設エンジニア学科 ■ガーデンデザイン学科
- 専科 2級建築士科 ■専科 1級建築士科



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



張るだけで 環境に貢献する外壁材。



使われている国産木材チップは、外壁材の体積比50%以上にも及びます。

「オフセットサイディング」は、セメントと木材チップを独自の技術で混ぜ合わせ、乾式でプレス成型して生産する外壁材です。柱を製材した後に残る背板、端材など本来不要となる部分を加工した国産木材チップの量は、外壁材の体積の50%以上にも及んでいます。その結果、木の有効活用につながるのと同時に、木が生長過程で吸収した多くのCO₂の放出を防止(炭素の固定化)。地球温暖化を防止するカーボンニュートラル、さらには森林の保護・育成に大きく貢献しています。



間伐材・国産材の端材を活用。製材後の端材を木材チップにし、外壁材の原料に。40年以上培ってきたニチハの独自技術です。外壁材として使用することで、木が吸収したCO₂の放出を防止(固定化)。

素晴らしい人間環境づくり
NICHHA **ニチハ株式会社**

<https://www.nichiha.co.jp/>

国産木材とセメントで、

CO₂を
閉じ込める外壁材を。
オフセットサイディング




ニチハ公式
動画サイト



Le Acque di Cielo

水の透明感やゆらめきを陶器で表現した新しいコンセプトカラー。
グロッシーな輝きがバスルーム空間に新たな要素をプラスします。

 **HIRATA TILE**

株式会社 平田タイル
〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-1-10
 [hiratile_aquapia](https://www.instagram.com/hiratile_aquapia)

